

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書


- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 大里南小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生65名(授業時) 5, 6年生160名・保護者26名（講演会時）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（教育講演会） ③ その他（                      ） (2) 地域における活動 ① イベント名（                      ） ② その他（                      ）
4 目標 (ねらい)	「スポーツのもつ力で心身共に調和的な発達が遂げられる児童を育てる」 ～共生社会の実現に向けた障がい者への理解を深めるオリンピック・パラリンピック教育を通して～
5 取組内容	1. 「だれもが関わり合えるように」をテーマに点字や手話、盲導犬について調べる。  2. 福澤さんの話を聞く。 福澤さん自身のこと 「平等」について 夢と目標をもって生きる 車いすバスケットボール  3. 車いすバスケットボールについて調べ、プレーしている人たちの思いを知る。



	<p>4. 車いすバスケットボールを体験する。(2回)</p>  <p>5. 自分が関心をもったことを調べ、発表する。</p> <p>介助犬、聴導犬      便利な道具      義足、車いす      ユニバーサルデザイン      パラリンピックの歴史、種目、選手、道具</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすバスケットを経験することで、選手の並々ならぬ努力を察することができた。また、選手の様子や話を聞くことで、自分の目標を改めて考え直すことができた。</li> <li>・障がいをもつ人とのふれ合いにより、改めて障がいをもっている人の考え方や障がい者への見方を変えることができた。</li> <li>・パラリンピックや障がい者への理解、共生社会への理解が進み、障がい者や社会的に弱い立場の人に自分から進んで声を掛けようという意識、他の人のことを考えて行動したいという意識が向上した。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の打合せを行い、児童主体の授業展開となるよう進めた。</li> <li>・実際のプレーを間近で見たり、競技用の車いすを操作したりして、体験活動を伴う授業展開にした。</li> <li>・ねらいにあった話をさせていただくことで児童の心を育てることができた。</li> <li>・競技用の車いすを授業に合わせて準備できるように、関係機関との連絡調整に努めた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピックについてのメディアの取り上げ方が薄いので、教師側が意図的に教えることも必要だった。そのためにも、共生社会のことを含め、教師自身が研修する機会の充実をさらに図った方が、もっと幅広く、深く指導することができる。</li> <li>・障がい者スポーツについての知識は多くなったが、さらにルールについても知識が広げられると、障がい者スポーツそのものの理解が深められた。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年東京大会に向けて、オリンピック・パラリンピックに関する内容を今後も教科や諸活動等で多く取り入れ、関心を維持・向上させるだけでなく、個人なりにも何らかの参画意識をもてるよう指導・助言を継続していく</li> <li>・道徳や総合的学習の時間、及び各教科の中でも、障がい者との関わりについて取り上げ、共生社会への意識をさらに高めていくだけでなく、実現に向けた自己の役割としての前向きな意識をもてるように指導していく。</li> </ul>